

教育大に乱入

全学闘争委員の二百人

教育大学の全学闘争委員会の学生ら二百人は十四日午後、東京・渋谷の青山学院大学で集会を開いた。地下鉄で文京区大塚の教育大学へ向かい、立ち入り禁止中の大学構内に乱入した。

学生たちは木材や鉄パイプを持ち、警戒にあたっていた大塚職員に投石、ひるんだ又井に仲間からはいり、校舎に向けて投石、ガラ又五十枚を割った。警視庁は機動隊の出動を命令、機動隊が数分間には学生は外に出た。

朝日新聞

紛争大の予算バツサリ

San M 厳しく査定 東大は一学年分削る

文部省は来年度にも、国立大学（一部は別）については、一学年分の「減額」に決まるとして、各大学の四十四年度予算を厳しく査定し、三年分だけを「学」として査定法を適用すると見込まれるが、入試中止で新入生の減少が、また新入生は入れた。検討している。

「紛争中の国立大は、国費のみならず、学生経費も削減される。東大、東京教育大については、一学年分の削減が、両大学とも、四十四年度は三年分の学生経費で四年分の学生をまかなうことになる。

奨学金ストoppか

紛争の「単位ゼロ」の学生千人 東教大

果てしない紛争が続く東京教育大学で、きょう一日の新学期から体育学部を除く四学部の現学生約一千人への奨学金がストoppされる可能性が出てきた。在学生の四十三年度取得単位がゼロに近い状態で、日本育英会のきびしい資格審査にふるためだ。

各大学から六月末までに日本育英会へ報告され、取得単位が少なく、留年のおそれがある場合は奨学金の打ち切り、一年間の交付停止などが決められている。

東教大は昨年六月二十六日、体育学部が封鎖されたため体育学部を除く四学部一三二現生の一般教育の講義は完全に中断されていた。二十四日の評議会では、この中断前の一般教育科目の授業は「そっくり、無効」と決まった。

再開後の授業をつぎたす方式をとっているため、いまは単位をこらなくとも育英会へ学業成績を報告する六月末まではなんとか単位がとれるが、中断前の授業を「無効」とする東教大の方式では六月末になっても一般教育の単位はゼロ。

前年度の東教大は在学生約四千五百人中千七百人が現学生。このうち体育学部と卒業生を除いた約一千人の現学生が、奨学金を継続交付されるかどうかの線上にある。

日本育英会の昨年度の現学生は全国で約十四万人。このうち約二千五百人の奨学金が打ち切り、廃止となっているだけで、一大学で大幅に奨学金が打ち切られた例はこれまでにないという。

この経費として四十三年度の場合同、東大には一億六千万円、東京教育大には五千二百万円が割りあてられたが、これは一年生の分として、東大では四百三十万、東京教育大では千五百万が減る。

学生経費は教育費という考えは、紛争で教育の行なわれていない他の大学にも当然適用されることとして、文部省は個々のケースを断り、大学ごとに償還に査定を要する。

4/7 毎日

四年生の授業再開 東京教育大 学生の立ち入り禁止していた東京教育大で、十四日午後、校内に機動隊を派遣されたまま、卒業をひかえた四年生と大学院生の授業を再開した。この日は正午前に体育学部が封鎖に立ち、数校した学生は向かって高層階が進行した通行を止め、大学院生は機、四年生は機動隊のバリケードを突破して機動隊入り後八日ぶりに構内にはいった。同学部では新入生募集を行ない、四月十日には卒業生を送り出されるという。